

デスクオルガン E 型

---

DE-437 アンサンブルオルガン

---

取扱説明書

**YAMAHA**

## ごあいさつ

このたびはヤマハデスクオルガンE型 DE-437をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございますました。

DE-437は、幅広い音楽学習のお手伝い出来る楽器として設計・開発致しました。ご使用にあたりましてはこの取扱説明書をご一読のうえ、DE-437の機能を十分にご活用いただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 主な特長

### 1.美しくクリアーな音色

音づくりにヤマハ独自のFM音源方式を採用、美しくクリアーな音色を実現しました。

### 2.豊富な音色

個別で8種類、トータルで12種類の豊富な音色を持ち、アンサンブルに威力を発揮します。

### 3.ヘッドホンを使用したグループ学習が可能

ヘッドホンを使用することにより、他のグループの音に邪魔されることなく自分たちのグループ学習に集中できます。ヘッドホン使用時の学習形態はソロ・ペア・グループの3つに切り換えることができます。さらに外部入力ジャック、外部ヘッドホンジャック(各2個設置)を利用すれば、別の2人がシンセサイザーなど他の電子楽器でこの学習に加わり、合計6人によるソロ・ペア・グループの学習が可能です。

### 4.モニター機能の充実

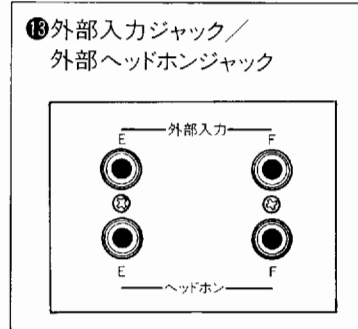
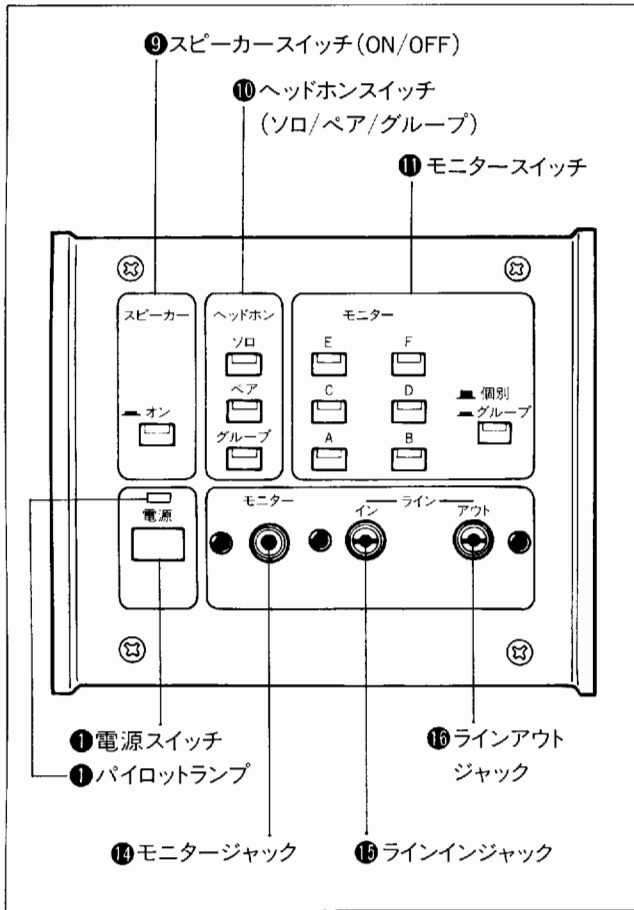
モニタースイッチの操作により、ソロ・ペア・グループの3つに切り換えてモニターすることができますので、生徒の個性を生かしたきめ細かな指導が可能です。

### 5.教室での使用をあらゆる面から考慮した新設計

- ・一台で4人分という省スペースのコンパクト設計です。また、移動が容易なキャスターつきですので、音楽室を有効に活用できます。
- ・電源コードは一台(4人分)に一本ですので、教室がすっきりします。
- ・鍵盤蓋は4人分割で、閉じるとデスクとして使用できます。
- ・コントロールパネルは教科書、楽譜等を広げてもスイッチ類が隠れないよう工夫しました。

# 各部の名称と機能

## モニターパネル



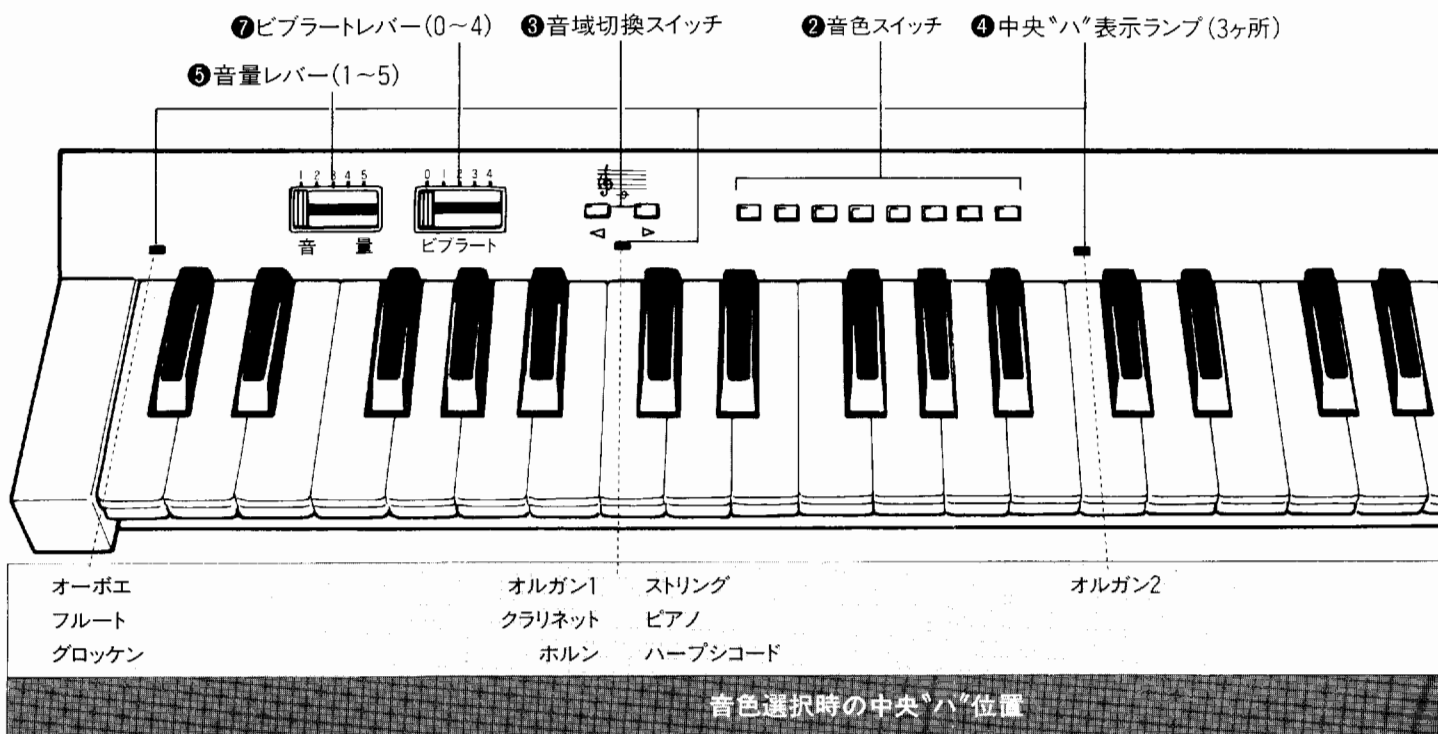
⑧ ピッチコントロール

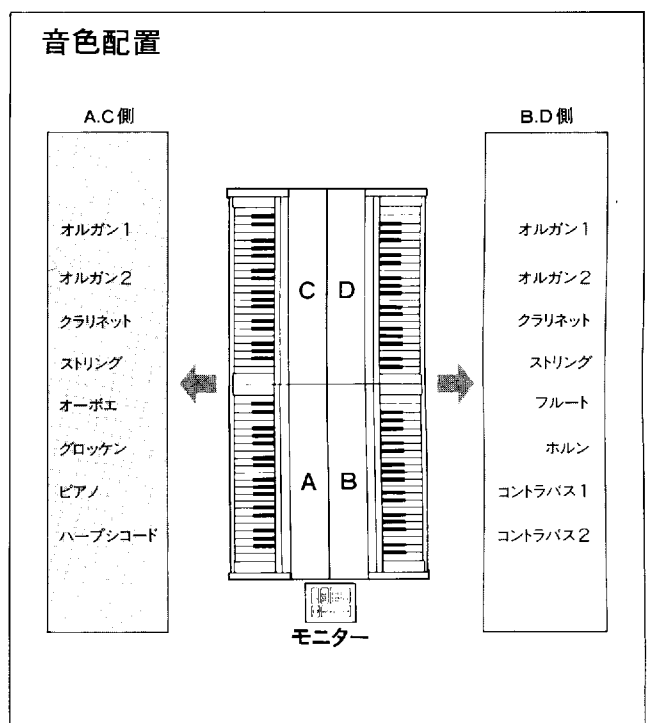
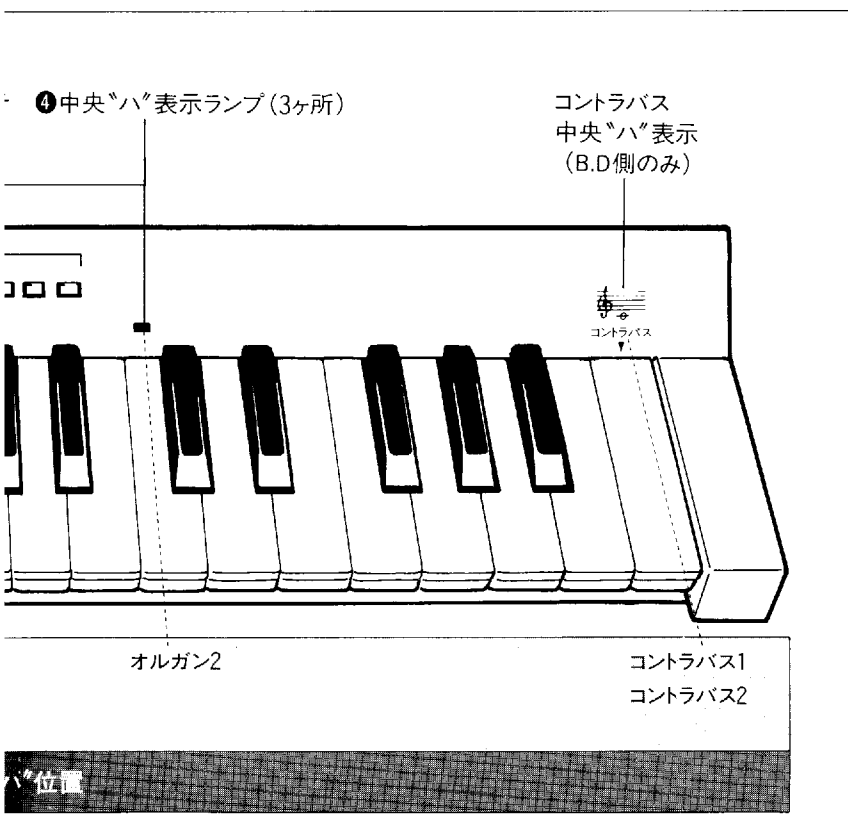
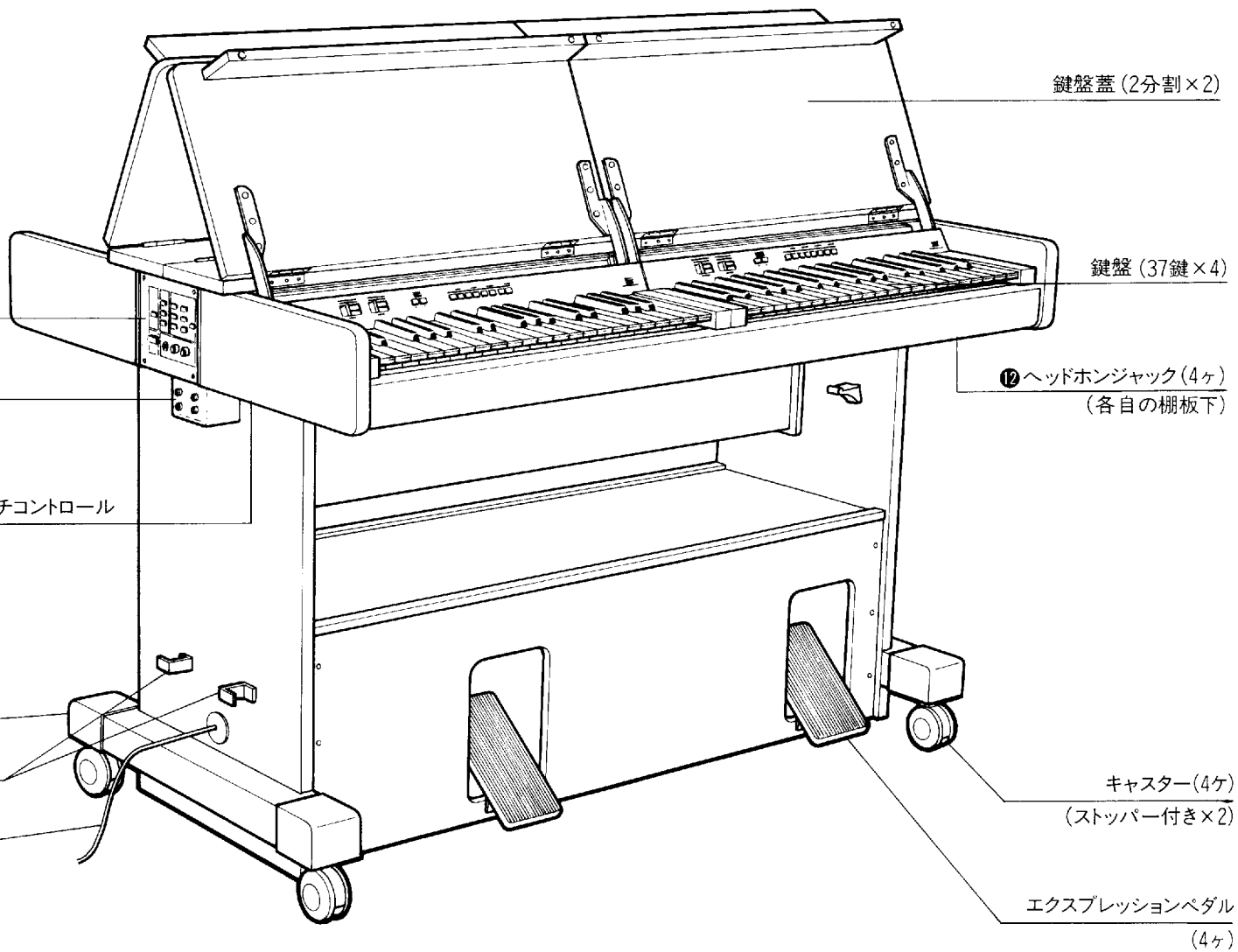
ゴムカバー

電源コード巻取り用フック

電源コード

## コントロールパネル



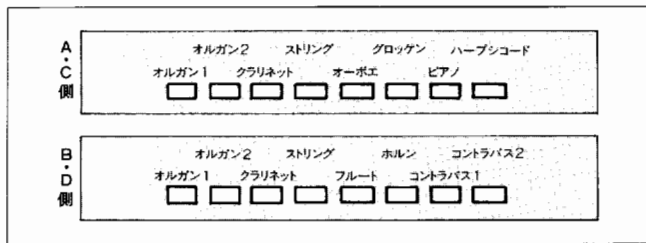


## ①電源スイッチ/パイロットランプ

電源スイッチを入ると、パイロットランプが点灯し、デスクオルガンは演奏可能な状態になります。

## ②音色スイッチ

音色を選ぶスイッチです。DE-437は各自が8種類の音色を持っており、そのうちの4音色は4人全員に共通ですが、残りの4音色はA・Cの2人とB・Dの2人では異なります。つまり、一台で合計12の音色を持っていることになります。また、どのスイッチも押されていない場合は、オルガン1の音色になります。



## ③音域切換スイッチ

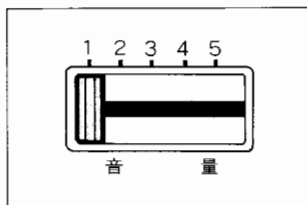
## ④中央“ハ”表示ランプ

DE-437は各音色により、音色選択時の基準音域が異なります。音色を選ぶとその音色の基準音域が自動的にセットされ、3箇所の中中央“ハ”表示ランプのうちの1つが点灯し、中央“ハ”の位置を示します。音域切換スイッチは、音域を移動させるスイッチで、これを使用することにより、基準音域から2オクターブの範囲で音域移動ができます。そして、この移動に伴い中央“ハ”表示ランプの点灯位置も変わります。音域を高い方へ移動すれば中央“ハ”表示位置は左へ、逆の場合は右へ移動します。この音域切換により各音色はC-c4の61鍵分の音域をカバーします。ただしコントラバス1、2の2音色は例外で、音域はC1-c1の37鍵分に固定されており、右端の37鍵目が常に中央“ハ”となります。

※グロッケンについてのみ、実音は表示より1オクターブ高くセットしてあります。

## ⑤音量レバー

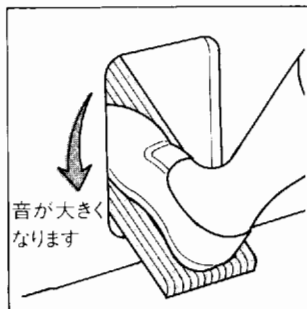
エクスペッションペダルを一杯に踏み込んだ時の最大音量を決めるレバーです。レバーを右へスライドさせるほど音は大きくなります。



また、このレバーとビブラートレバーはクリックストップになっており、レバーを移動させると目盛の位置で軽い手応えがありますので、必ずその位置にセットしてください。

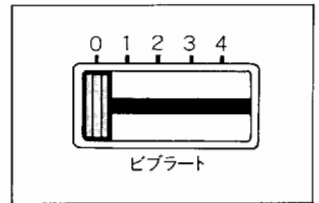
## ⑥エクスペッションペダル

全体の音量を調節するペダルです。演奏中、このペダルを踏み込む力を調節して、音に強弱をつけることができます。ペダルを全く踏み込んでいない状態では音は出ません。



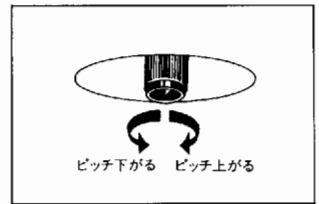
## ⑦ビブラートレバー

音の高さを小さくみに上下させ、音にうるおいをあたえる効果です。レバーを右へスライドさせるほど、音のふるえ方が大きくなります。レバーが0の位置ではビブラートはかかりません。



## ⑧ピッチコントロール

他の楽器と合奏する時に、このつまみで音程を微調整します。中央の位置がおよそA = 440Hzで、右に回すと音程は上がり、左に回すと音程は下がります。つまみは一台にひとつで4人全員にかかります。



## ⑨スピーカースイッチ

スピーカーのON/OFFスイッチです。このスイッチを押すと棚板下に内蔵されたスピーカーから音がでます。全グループが同一テーマのもとに学習するような場合に使用します。

## ⑩ヘッドホンスイッチ

ヘッドホンを使用して学習する時に使います。このスイッチを操作して、学習形態をソロ・ペア・グループの3つに切替えることができます。

スイッチ	ヘッドホンから聞こえる音	学習形態
ソロ	自分の演奏のみ	個別学習
ペア	自分と自分の向いの2人の演奏 ※外部入力ジャックによる参加者が2人いる場合には、外部参加者同志の演奏	ペア学習 (向い同志)
グループ	4人全員の演奏 ※外部入力ジャックによる参加者がいる場合には、外部参加者も加えた全員の演奏	グループ学習

## ⑪モニタースイッチ

モニタージャックに接続したヘッドホンで演奏をモニターする場合に、モニターする対象を選択するスイッチです。ヘッドホンスイッチの状態(生徒の学習形態)に応じて、モニタースイッチを操作し、次のようにモニターをすることができます。但し、生徒スイッチE、Fは、外部入力ジャックE、Fによる参加者がいる場合に使用します。

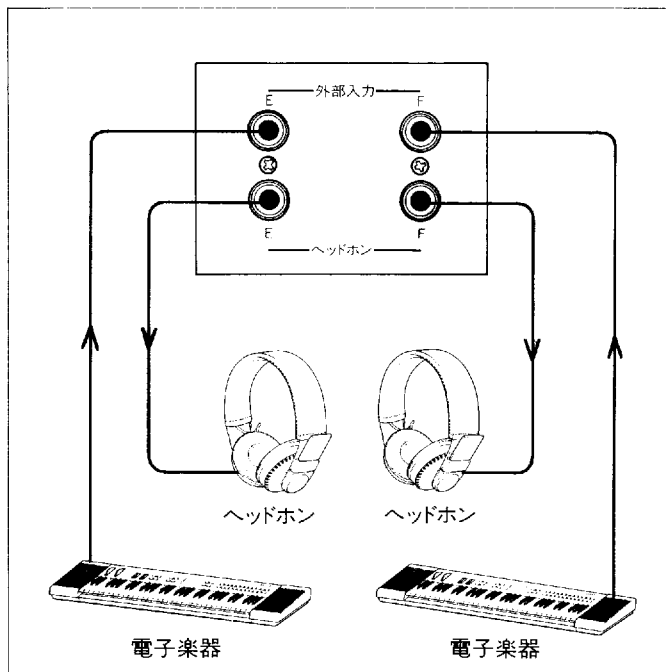
ヘッドホンスイッチの位置	モニタースイッチの位置	モニターの状態
ソロ	個別	個別 (生徒スイッチ A~Fを選択)
	グループ	個別 (生徒スイッチ A~Fを選択)
ペア	個別	個別 (生徒スイッチ A~Fを選択)
	グループ	ペア (AorBを押す→A+B) (CorDを押す→C+D) (EorFを押す→E+F)
グループ	個別	個別 (生徒スイッチ A~Fを選択)
	グループ	グループ全員

## ⑫ ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続する端子です。各自の棚板下に1つずつ、一台で合計4つついています。

## ⑬ 外部入力ジャック/外部ヘッドホンジャック

他の電子楽器を使ってDE-437のグループ学習に参加する時に接続する端子で、E、Fの2系統があり2人が利用できます。外部入力ジャックにシンセサイザーなどの電子楽器を、外部ヘッドホンジャックにヘッドホンを接続することにより、DE-437の4人に、さらに別の楽器の2人が加わって、ソロ・ペア・グループのグループ学習をすることができます。



## ⑭ モニタージャック

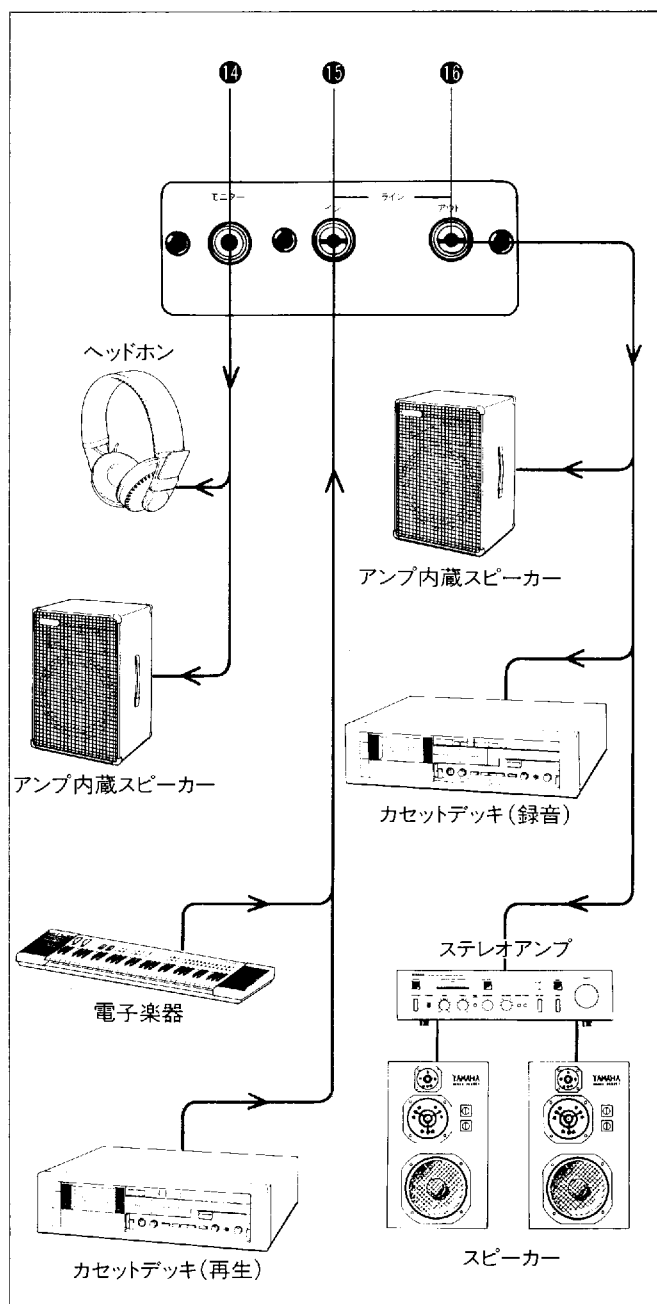
モニター用ヘッドホンのプラグを差し込み、モニタースイッチを操作して生徒の演奏をモニターする時に使います。また、アンプ内蔵スピーカーへ接続することもできます。

## ⑮ ラインインジャック

電子楽器やカセットデッキを接続し、デスクオルガンのスピーカーやヘッドホンでこれを再生し、アンサンブルに活用することができます。

## ⑯ ラインアウトジャック

カセットデッキに接続して、演奏を録音したり、アンプ内蔵スピーカーやステレオのアンプに接続し、より迫力のあるサウンドを楽しむこともできます。

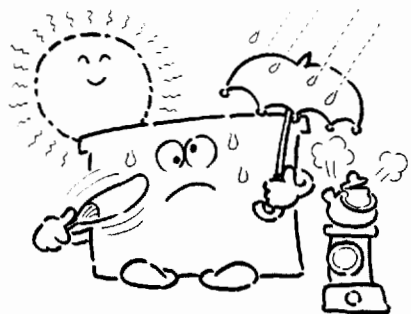


※ラインインジャック、ラインアウトジャックはピンジャックです。規格の違うプラグを接続する場合(電子楽器、アンプ内蔵スピーカーなど)には、プラグアダプター(市販品)を使用して下さい。

# デスクオルガンE型DE-437は大切に使いましょう。

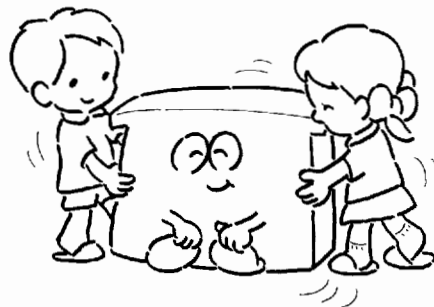
## ●温度や湿度に気をつけましょう。

直射日光の当たる所や、暖房器具の近くには置かないでください。湿気やホコリの多い場所も避けてください。



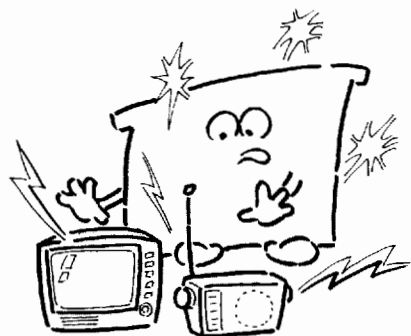
## ●静かに運びましょう。

DE-437を移動する時には、まずキャスターのストッパーを解除し、前後を支えながら、ゆっくりと動かして下さい。



## ●テレビやラジオに影響を及ぼす場合があります。

DE-437の近くでテレビやラジオなどの電気機器を同時に使用すると、雑音や誤動作の原因になることがあります。他の電気機器から充分離してお使いください。



## ●お手入れはやわらかい布で。

本体、鍵盤ともに、お手入れはやわらかい布でカラ拭きをしてください。よごれのひどい時は、水を布に含ませ固くしぼってから拭きとってください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。



## ●DE-437はやさしくお使いください。

スイッチ類の操作や蓋の開閉は丁寧にしてください。また、マジックやボールペンで落書きなどをしますと消すことができません。いつまでも大切にきれいにお使いください。



## ●ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。

また、長時間使用しない場合は、コンセントから差込みプラグを外しておいてください。



# 故障とお考えになる前に

## 1. 時々雑音が入る。(ガリツとかポツンという雑音)

電気器具の電源の入・切時、また、市街地のネオンサインの故障、電気ドリルなどがデスクオルガンに影響することがあります。このようなときには原因と思われる器機からなるべく離れたコンセントを使ってみてください。

## 2. 音が割れる。(共鳴する、あるいはビリつく)

デスクオルガンの音は持続音が多いため周囲の戸棚、窓ガラス、その他の器物に共鳴して音が割れて聞こえることがあります。このようなときには音量を小さくするか共鳴物を取り除くようにして下さい。

## 3. テレビ、ラジオ、アマチュア無線等の電波が入る。

近くに大電力の放送局やアマチュア無線局があるとき、デスクオルガンに影響する場合があります。

## 4. 選んだ音色によって、鍵盤位置による音量のばらつきがある。

一般に電子楽器では、音色を変えるという本質的な要素をもつため、音色による各鍵盤の音量のばらつきをなくすことは非常に困難です。デスクオルガンでは、どの音色でも演奏上問題のないように設計、調整されています。また、音量や音色は、デスクオルガンの設置場所の状態や聞く位置などによって大きく異なることがあります。

## 5. 同一音色、同一音程を複数鍵盤で弾いた時、音量が変化して聞こえる。

この電子オルガンは、各々鍵盤に対応する独立音源をもっていますが、同一音色、同一音程を複数同時に弾いた時、音色、音量が変化して聞こえることがあります。これはスピーカーに出力される時、お互いの音が干渉して発生する現象です。

# 保証とサービスについて

## 1. 保証

デスクオルガンの保証は、保証書によりご購入日から満1か年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。また、保証は日本国内のみ有効といたします。

## 2. 保証書

デスクオルガンの納入調整サービスの際、技術者が保証書内へ必要事項記入のうえ、発行致しますので記載事項をご確認下さい。

## 3. 保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がデスクオルガンをご購入いただいたお客様にご購入の日から向う一か年の無償サービスをお約束申し上げるものです。万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費をいただく場合がございますので必要に応じて、いつでもご提示いただけますよう保管してください。

また、後々のサービスに際しての機種別の判別やサービス依頼店の確認にご利用いただけますし、調整記録を記入する欄もございますので、保証期間が過ぎましても大切に保管下さい。

## 4. 保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合にはお買い求めいただいた楽器店にご連絡いただけますと楽器店またはヤマハの技術者が調整修理にお伺いします。

ただし、ヘッドホンにつきましては保証書と共に楽器店へご持参の上、修理をご依頼ください。

2. 保証書は、サービスにお伺いした時に今後貴重な資料とするため一時技術者がお預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社サービスセンターに送られ、必要事項を記録した後直接お客様にご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますが、ご心配なくお待ちくださるようお願い申し上げます。

## 5. 保証期間後のサービス

満1か年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。補修用性能部品（製品本来の機能を維持する為に必要な部品）の最低保有期間は8年となっております。

## 6. サービスをご依頼になる前に

1. コンセントに電気が来ているかどうか、他の電気製品を接続してお確かめください。

2. ご依頼いただいたサービスにお伺いした際、故障でないような場合には、点検代と出張経費などの実費をいただきます。

## 7. サービスのお約束について

1. できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきます。

2. 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。

3. サービスご依頼後、日時が経過してもなお技術者がお伺いしない場合はお手数でも右記サービスセンターまでご連絡下さい。責任をもって処理させていただきます。



# 仕様

鍵盤	37鍵×4(音域切換スイッチにより61鍵分をカバー)
発振方式	電子発振方式(FM音源)
同時発音数	1人当り8音まで(先着優先)
コントロールパネル	音色数12(1人当り8) 音量レバー(1~5)、ピブラートレバー(0~4) 音域切換スイッチ、中央“ハ”表示ランプ(高・中・低)
モニターパネル	電源スイッチ、スピーカースイッチ(ON、OFF) ヘッドホンスイッチ(ソロ、ペア、グループ切換) モニタースイッチ、モニタージャック(標準) ラインインジャック(ピン)、ラインアウトジャック(ピン)
その他	エクスプレッションペダル×4 ヘッドホンジャック×4 ピッチコントロール 外部入力ジャック×2(標準) 外部ヘッドホンジャック×2
定格電圧・周波数	AC100V(50/60Hz)
定格消費電力	70W
アンプ出力	20W+20W(Max)
スピーカー	20cm×2
寸法	間口1187mm、奥行766mm、高さ756mm
重量	63kg
外装	ミズリーウォールナット仕上げ 4人分割鍵盤蓋(譜面立て兼用) キャスター×4(ストッパー付×2)
標準装備品	椅子×4、ヘッドホン×4

# ヤマハのサービスネット

全国のヤマハ特約楽器店と下記サービスセンター、サービスステーションが責任をもってアフターサービスを行っております。

## 〔修理受付および修理品お預り窓口〕

北海道サービスセンター	☎011(513)5036 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 (ヤマハセンター内)
仙台サービスセンター	☎022(236)0249 〒983 仙台市若林区卸町5-7 (仙台卸商共同配送センター3F)
新潟サービスセンター	☎025(243)4321 〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバーホールビル2F)
松本サービスステーション	☎0263(32)5930 〒390 松本市大手2-5-2(中村屋ビル3F)
東京サービスセンター	☎03(3255)2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 (龍名館ビル4F)
首都圏サービスセンター	☎044(434)3100 〒211 川崎市中原区木月1184
浜松サービスセンター	☎053(465)6711 〒435 浜松市上西町911(ヤマハ隣宮竹工場内)
名古屋サービスセンター	☎052(652)2230 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (ヤマハ隣名古屋流通センター3F)
京都サービスセンター	☎075(361)6470 〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 (第2マスイビル3F HE京都内)
大阪サービスセンター	☎06(877)5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16 (ヤマハ隣千里丘センター内)
神戸サービスセンター	☎078(321)1195 〒650 神戸市中央区元町通2-7-3 (ヤマハ隣神戸店内7F)
四国サービスセンター	☎0878(22)3045 〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ隣高松店内)
広島サービスセンター	☎082(874)3787 〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39
九州サービスセンター	☎092(472)2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/電音サービス部 カスタマーサービスセンター	☎053(465)1158 〒435 浜松市上西町911

# YAMAHA

ヤマハ株式会社

---

- |        |   |
|--------|---|
| 楽器営業本部 | 〒104 東京都中央区銀座7-11-3 丸島ビル3階<br>管楽器営業課 TEL.03(3574)9410     |
| 北海道支店  | 〒064 札幌市中央区南10条西1-1 ヤマハセンター<br>管楽器営業課 TEL.011(512)5113    |
| 仙台支店   | 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル<br>管楽器営業課 TEL.022(222)5146 |
| 東京支店   | 〒104 東京都中央区銀座7-11-3 丸島ビル5階<br>管楽器営業課 TEL.03(3574)9416     |
| 名古屋支店  | 〒460 名古屋市中区錦1-18-28<br>管楽器営業課 TEL.052(201)5156            |
| 大阪支店   | 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館<br>管楽器営業課 TEL.06(252)5341 |
| 広島支店   | 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18<br>管楽器営業課 TEL.082(244)3749            |
| 九州支店   | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4<br>管楽器営業課 TEL.092(472)2155          |